

CG 体系におけるメッシュタリーの使用

杉田 武志¹、鳥居 建男²

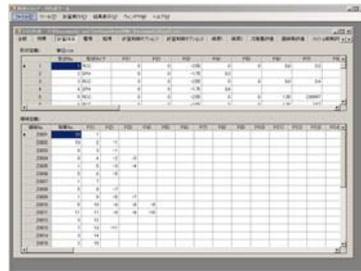
¹有限会社科学システム研究所、²日本原子力研究開発機構

MCNP5 等で使用できるメッシュタリーを EGS5 の CG 体系で使用方法について報告する。

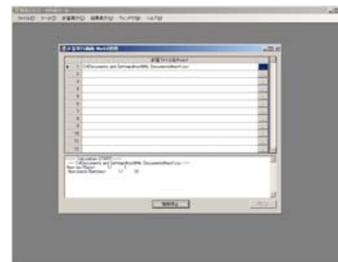
併せて、ユーザーが簡便に EGS を使用できるよう、グラフィカルインターフェイス(GUI)による入力作成や実行を制御する支援ツールについても報告する。主な特徴を以下に示す。

[主な特徴]

- GUI による EGS コードの入力作成、実行を制御



入力画面



実行画面

- 複数の線源形状や評価タリーを用意し、入力データを簡易に作成

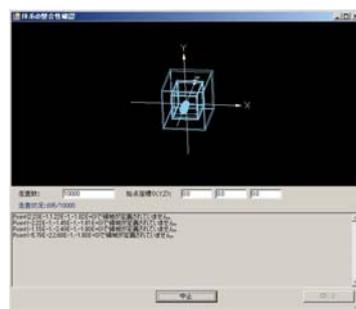


線源設定

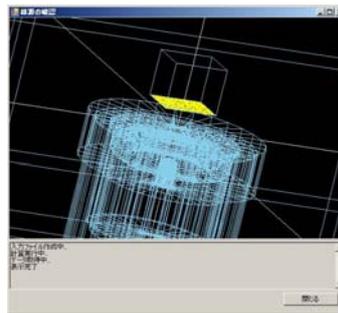


評価タリー

- CG による幾何形状の整合性や線源粒子の発生位置・方向を視覚的に確認



整合性確認



粒子発生位置確認

- 表形式でのデータ出力

番号	エネルギー (MeV)	強度	方向
1	0.02000	0.000E+00	6.000E-04
2	0.01500	0.000E+00	2.000E-04
3	0.01000	0.000E+00	6.000E-04
4	0.02000	0.000E+00	4.000E-04
5	0.02500	0.000E+00	6.000E-04
6	0.02000	0.000E+00	6.000E-04
7	0.02000	0.000E+00	1.190E-03
8	0.04000	0.000E+00	6.000E-04
9	0.04000	0.000E+00	9.990E-04
10	0.05000	0.000E+00	4.000E-04
11	0.05000	0.000E+00	6.000E-04
12	0.06000	0.000E+00	9.990E-04
13	0.05000	0.000E+00	9.990E-04

タリー番号	結果
1	1.000E+01
2	1.000E+01
3	1.000E+01
4	1.000E+01
5	1.000E+01
6	1.000E+01
7	1.000E+01
8	1.000E+01
9	1.000E+01
10	1.000E+01
11	1.000E+01
12	1.000E+01
13	1.000E+01